

高齢者向けヘルスケア分野から見た

## タイ高齢化社会と老後の生活資金（1）

タイは外資導入を梃にテイクオフを果たし、今日「中進国」の地位を固めました。現在は中所得国の罫からの脱却にあえいでいます。一方で、個々人は家計所得の向上を果たし、食生活も豊かになりました。医療技術、体制整備等の医療サービスの拡充もあり、死亡率が低下したことで、タイ人の平均余命は確実に延びています。



## 人口統計(1950-2050)

	1950	1975	2000	2025	2050
人口(百万人)	19.6	41.3	61.4	72.6	74.6
0-14歳の人口(%)	42.1 (34.3)	42.8 (36.8)	25.6 (30.0)	19.3 (24.2)	16.8 (20.2)
15-64歳の人口(%)	54.6 (60.5)	54.1 (57.6)	68.4 (63.0)	67.4 (65.3)	61.8 (63.7)
65歳以上の人口(%)	3.2 (5.2)	3.2 (5.7)	6.0 (6.9)	13.3 (10.5)	21.4 (16.1)
	1950-1955	1975-1980	2000-2005	2025-2030	2045-2050
人口増加率(%)	3.0 (1.8)	2.3 (1.9)	0.9 (1.2)	0.3 (0.7)	-0.1 (0.4)
粗出生率(‰)	44.3 (37.5)	30.1 (30.9)	16.3 (21.1)	12.3 (16.2)	11.0 (13.8)
粗死亡率(‰)	14.7 (19.5)	7.5 (10.8)	7.3 (9.0)	8.3 (8.9)	11.8 (10.1)
合計特殊出生率	6.4 (5.02)	4.0 (3.92)	1.9 (2.65)	1.9 (2.23)	1.9 (2.05)
平均寿命(歳)	52.0 (46.3)	63.1 (59.9)	69.7 (64.7)	76.4 (70.6)	79.1 (74.7)

(注) 予測は中位推計、( )は世界平均  
(出典) 国連人口推計

さらに、タイは女性の権利もはっきりしているため、女性の活躍も目覚ましく、男性に比べ、高学歴な女性ほど結婚を希望しない人が増えています。結婚年齢は上がり、結果子供を持たないケースが多くなることで、必然的に合計特殊出生率は低下します。日本以上に少子高齢化が急速に進んでいることに加え、若年層のバンコク首都圏への移動も著しく、今タイでは「地方に住む両親、高齢者の面倒をだれがみるのか」「老後の生活費の確保をどうするのか」という新たな社会問題が浮上しています。

高齢化が進み、タイにおいても高齢者向けヘルスケアサービス・製品が必要とされるようになってきていることは明白で、将来確実な成長が見込まれることから、足元のマーケットは小さいにもかかわらず、タイの起業家・企業家の高齢者向けビジネスへの参入意欲は高いと言えます。まったく異なる事業分野からの参入を検討している企業もあることを考えると、日本からの参入の余地も十分にありますが、日本のビジネスモデルをそのまま持ち込んでも必ずしもうまくいくわけではない（日本の製品・サービス価格では超富裕層以外は手が出ない）というのが現状です。これは、タイと日本の高齢者を取り巻く環境の違いを踏まえた製品・サービスの現地化が必要であることを意味し、日本からタイに参入する際には、よりよいパートナー探しは何よりも重要となることは間違いないでしょう。

次回以降、タイの高齢者の現状と老後の生活費の確保についてをお届けします。

## タイ経済指標（3月）

項目	単位	2018	2019	2020	2021
GDP 成長率	前年比 (%)	4.2	2.4	-6.2	-6.2 (2020年)
人口*	千人	67,869	68,021	68,152	68,161 (1月)
労働者の数*	千人	38,353	38,207	39,451	39,451 (2020年)
失業率**	%	1.06	0.99	1.62	1.62 (2020年)
最低賃金* バンコク	パーツ/日	325	325	331	331
チョンブリー		330	330	336	336
アユタヤー		320	320	325	325
ラヨーン		330	330	335	335
賃金：全国製造業の平均	パーツ	12,831	13,131	13,562	13,562 (2020年)
インフレ率**	前年比 (%)	1.06	0.71	-0.84	-0.75 (2月)
中央銀行政策金利*	%	1.75	1.25	0.50	0.50 (3月)
普通貯金率**	%	0.47	0.47	0.31	0.25 (2月)
ローン金利 (MLR) **	%	6.32	6.29	5.60	5.42 (2月)
SET 指数*	1975年：100	1,563.8	1,579.84	1,449.35	1,587.21 (3月)
パーツ/100円**	パーツ	29.26	28.48	29.33	28.60 (3月)
パーツ/米ドル**	パーツ	32.31	31.05	31.29	30.26 (3月)
円/米ドル**	円	110.4	109	106.8	105.9 (3月)
車販売台数 (1月からの累計)	台数	1,041,311	1,019,602	779,857	130,578 (2月)
B0I 認可プロジェクト	件数	1,469	1,500	1,501	1,501 (2020年)
B0I 認可プロジェクト金額	10億パーツ	549.48	447.36	361.41	361.41 (2020年)

\*期末、\*\*平均